



平城宮跡等の調査概要

表15 2005年度 平城宮跡発掘調査部 発掘調査一覧

調査次数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
389次	6 ABS・C・D	平城宮中央区朝堂院	2005.3.28～8.2	1776㎡	奈良市佐紀町	中川あや	学術調査	102
390次	6 BGN・B・C	旧大乘院庭園	2005.7.19～10.21	517㎡	奈良市高畑町	高橋克壽	史跡整備	120
391次	6 BSD・D	西大寺旧境内	2005.7.5～7.6	4.9㎡	奈良市西大寺小坊町	林 正憲	防災工事	92
392次	6 BKF・O・P	興福寺旧境内	2005.8.1～8.11	21㎡	奈良市登大路町	和田一之助	建物建設	92
393次	6 BKF・H・O	興福寺一乗院跡	2005.8.29～9.21	144㎡	奈良市登大路町	大林 潤	建物建設	130
394次	6 AAW・K	平城宮朝集殿院	2005.10.3～2006.1.5	1296㎡	奈良市佐紀町	今井晃樹	学術調査	114
395次	6 ADA・A他	平城宮馬寮北方	2005.10.19～10.26	30㎡	奈良市佐紀町	金井 健	建物建設	92
396次	6 AHH・I・H	平城京左京七条一坊十六坪	2005.11.14～12.14	602㎡	奈良市八条町	小田裕樹	建物建設	132
397次	6 AAN・C	平城宮内裏北外郭	2005.12.12～12.14	13.5㎡	奈良市佐紀町	金井 健	建物建設	112
398次	6 AGF・R	平城京右京三条一坊十六坪	2006.1.10～1.13	14㎡	奈良市二条大路南	栗野 隆	建物建設	92
399次	6 AAW・K	平城宮朝集殿院	2006.1.6～5.9	1150㎡	奈良市佐紀町	森川 実	学術調査	114
400次	6 AGA・A・B、6 AGC・I	右京一条二坊四坪	2006.1.16～2.22	166㎡	奈良市二条町	山本 崇	確認調査	92

表16 2005年度 平城宮跡発掘調査部 小規模調査の概要

調査次数	遺 跡	調査の概要
391次	西大寺旧境内	西大寺境内および隣接する石落神社境内における防災工事にもなう発掘調査。西大寺境内では溝（中世か）や土坑を検出するとどまり、石落神社境内においては整地面（中世以降か）を確認したのみであった。
392次	興福寺旧境内	住宅建設に伴う事前調査である。東西3m、南北7mの調査区を設定して調査をおこなった結果、鎌倉時代から室町時代にかけての複数の遺物包含層を確認した。これらの包含層には土師器が多量に含まれており、また瓦および木炭も少量ながら認められた。
395次	平城宮内裏北外郭北辺	公民館の新築に伴う事前調査。東西7.5m、南北4mの調査区を設定し、H=69.7m付近で平坦な礫面（黒灰砂層）を検出した。礫面には土器片や瓦片が散在し、8～12世紀の間で時期差がみられる。礫面は田畑の床土下に施した地業とも考えられるが、調査区が狭小であるため、その性格は判然としない。
398次	平城京右京三条一坊十六坪	住宅建設に伴う事前調査。東西7m、南北2mの調査区を設置した。標高65.6m付近で遺構面に達する。土器片を含む南北溝3条を検出したほか、顕著な遺構なし。
400次	右京一条二坊四坪	奈良文化財研究所本庁舎敷地内の確認調査。2m×総延長83mのトレンチを4箇所を設定した。北区で掘立柱建物1棟、古墳時代流路及び奈良時代以前・以後の3条の流路を検出したほか、西区から中庭区にかけて秋篠川旧流路の東岸・北岸を検出した。庁舎敷地の北・東には遺構面が残存することを確認するとともに、平城宮西辺における地形環境や微地形復原に資するデータを得ることができた。

表17 2005年度 平城宮跡発掘調査部 現場班編成 総担当者

	考古第一	考古第二	考古第三	遺 構	史 料
春	次山 淳	西口壽生	中川あや	清永洋平	馬場 基
夏	和田一之輔	高橋克壽	林 正憲	大林 潤	渡辺晃宏
秋	小池伸彦	小田裕樹	今井晃樹	金井 健	
冬		森川 実	深澤芳樹	島田敏男・栗野 隆	山本 崇
総括：部長 川越俊一				写真担当：牛嶋 茂、中村一郎	